

新しい学生支援体制について

本学では、学生全員の学生生活の質の向上に寄与する組織づくり、学生が卒業後も帰属意識を保持し、卒業生として本学に関わり続けることができる体制づくりを目指しています。そのため、学長を中心に検討を重ねてきた結果、令和6年4月より、校友会・同窓会を統合した新しい組織を発足させることになりました。

【校友会】

入学から卒業後まで生涯にわたる母校との交流・連帯をサポートするため、新たに「校友会」を設置します。校友会は、在学生、卒業生、教職員を構成員とし、①修学、課外活動、就職活動等の学生生活の充実に必要な支援事業、②卒業生ネットワークの充実及び大学との相互協力体制の強化に必要な事業、③社会で活躍している卒業生の表彰などを実施します。

「校友会」の発足に伴い、「全学学生会」「学生代表者会議」を新たに立ち上げ、課外活動への更なる支援とともに、学生の意見を聴き、学生支援に反映する体制を整えます。

【全学学生会】

部活動や芸術祭などの行事を実施してきた「校友会」は、「全学学生会」として大学が全面的に支援する体制とします。校友会同様、学生の自主活動を通じ、自立と協力により学生・教員相互の親睦を深め学園生活の円満・充実を期するとともに、学術文化の向上、体育・スポーツ活動の発展に務め、良き学風の醸成に寄与することを目的に掲げ、学生の仲間づくりを応援します。

【学生代表者会議】

学校生活の充実や改善向上を大学に要望するため、全学学生会や各学科からの代表を通じて、学生の意見、要望の取りまとめ、大学執行部へ申し入れます。

これらの活動費用に充当するため、校友会費及び全学学生会費35,000円を初年度の後期納付金と一緒に徴収します。学生が充実した学生生活を送り、卒業後も本学とつながることができるよう、大学として全力で支援します。何卒ご理解・ご協力をお願いいたします。